

会 議 録

会議名 (審議会等名)		平成28年度 第5回 相模原市経営評価委員会				
事務局 (担当課)		経営監理課 電話042-769-9240(直通)				
開催日時		平成28年10月7日(金) 18時30分~20時30分				
開催場所		相模原市役所 本館2階 第1特別会議室				
出席者	委員	10人(別紙のとおり)				
	市					
	事務局	4人(経営監理課長 他3人)				
公開の可否		可	不可	一部不可	傍聴者数	0人
公開不可・一部不可の場合は、その理由						
会議次第		1 議事 (1)(仮称)第2次さがみはら都市経営指針答申案について (2)(仮称)第2次さがみはら都市経営指針実行計画案について (3)その他				

審 議 経 過

主な内容は次のとおり。

1 議事

(1)(仮称)第2次さがみはら都市経営指針答申案について
事務局より、答申案について説明した。

(以下、質疑応答・意見交換 は委員の発言、 は事務局の発言)

指針案の「5 進行管理」の「進行管理により明らかになった取組効果額は、次年度の財政運営に適切に反映する…」は、「効果額」よりも、広い意味で「効果」と表現すべきではないか。

ご意見を踏まえて修正させていただく。

答申案に添付する指針案の取組の方向性の「主な取組例」は、今後どのように具体化されるのか。

指針案の主な取組例は、実行計画の策定に向けた例示であり、今後、実行計画に具体的な取組を掲載する。指針及び実行計画を策定する段階では、削除したいと考えている。

指針の名称は「(仮称)第2次さがみはら都市経営指針」としているが、今後どのように決定するのか。

現指針を踏まえつつ、内外の環境変化に対応した見直しにより策定することから、名称は「第2次さがみはら都市経営指針」としている。答申後は「(仮称)」を削除して案をまとめていきたいと考えている。

答申案の「1 答申の概要」において、この指針はどのような指針なのかということをも明記し、取組の方向性の説明につなげる必要があるのではないかと。

取組の方向性の説明の冒頭に明記するなど、文案を検討させていただく。

資料編は、今後どのように取りまとめるのか。

資料編は、主に指針の内容を補足説明するためのものであり、指針の後ろに参考として加える予定である。

資料編の各項目は、指針に対する何の資料なのか。また、名称はどのようにするのか。

指針全体に関連する人口動向などの社会経済情勢、市のこれまでの行財改革の取組や財政状況、主要な計画の概要等を参考として示すものである。名称については、今後検討する。

答申案の「4 都市経営の推進に向けて」は、もう少し全体的に内容がつながるような表現にしてはどうか。

この部分の前段は、行政の市民との協働に向けた要望であり、後段は、行政組織の

取組姿勢について要望するものであることから、後段は、「市長をはじめとした都市経営推進本部を中心とした体制で都市経営に取り組む」や「庁内横断的に取り組む」等、もう少し具体的な表現が良いのではないかと。

また、様々な取組をいかしたシティプロモーションなどにより、他都市よりも際立ったまちづくりを推進していただきたいといった表現を加えると、指針の基本方針と整合するのではないかと。

ご意見を踏まえて修正させていただきます。

本日のご意見を踏まえて答申案を修正し、文案の最終調整は委員長へ一任とさせていただきますとともに、10月18日(火)に、本委員会を代表して副委員長とともに、市長へ答申することとしてよいか。

了承した。

答申受領後は、市としてさがみはら都市経営指針(案)・実行計画(案)をとりまとめ、市議会への説明とパブリックコメントの実施を経て、2月頃の策定・公表を予定している。

(2)(仮称)第2次さがみはら都市経営指針実行計画案について

事務局より、指針の取組の方向性を具体化した実行計画案について説明した。

実行計画案は現時点におけるものである。現在、調整中の取組項目もあり、今後、取組項目の内容変更や追加の可能性もあるので、ご了承いただきたい。

27「市税等の収納率の向上」は、収納率の向上に向けた取組を推進することとなっているが、行政サービスを受ける対価として料金等を支払う保育所保育料などは、基礎値の平成27年度収納率が100%ではない理由は何か。また、平成31年度の目標値は100%とすべきではないか。

保育所保育料の場合、保護者の所得に応じた保育料を決定しているが、様々な事情により未納となるケースがあり、口座振替による納付の推進や個別相談等の取組を行っているものの、目標値を100%とすることは現実的に難しい。

現年度収納率の向上に向けて収納率を目標値に設定するとともに、未納となった債権については、26「債権回収の強化」の取組で収入未済額を目標値に設定し、進行管理を行うこととしている。それぞれの取組を推進し、市税等の市民負担の公平性・透明性の確保につなげることが目的である。

1「市民協働推進大学事業の充実」は、達成目標としてさがみはら地域づくり大学の受講者数の増加を図るとあるが、受講後に地域活動の担い手となってもらうことが成果であるので、受講した結果に対する目標値があってもよいのではないかと。

ご意見を踏まえて、所管課と調整させていただきます。

現実行計画から継続する取組は、現在の進行管理により明らかになっている問題点

や反省点を踏まえた内容となっているのか。

例えば、 13-5「藤野駅駐車場管理運営業務の民間活力の導入」等は、昨年度の事務事業評価の対象事業として本委員会で議論を重ねた経過があるが、実施内容の年度別計画は漠然としており、目標の具体性に欠けている印象がある。

当該事業は事務事業評価において、民間活力を活用した実施手法に見直すべきとした評価結果を踏まえ、所管課において課題の整理や導入に向けた検討を行っているところであり、今後もスピード感をもって取り組んでいく。

5「アダプト制度の推進」や 7「市民防災力向上に向けた防災知識の普及・啓発」など、市民との協働による取組は、市民が地域活動の担い手・けん引役となっていくことが重要であり、地域における活動実績の視点からも、達成目標や目標値を検討していただきたい。

活動実績を具体的な数値として把握することは難しい面もあるが、ご意見を踏まえて、所管課と調整させていただく。

相模原市における保育所等の利用待機児童数は、どのような状況か。

平成28年4月1日現在は、0人であった。

シティセールスは、産業や観光を中心として市の認知度を向上させることを主たる目的としているが、例えば、保育、教育、福祉、公園など、暮らしに関連する行政サービスの充実は、市民の満足度を高めるとともに、居留意欲の喚起につながると考えられるので、市の住みやすさという魅力をアピールする視点にも加えるとよいのではないか。

待機児童の問題は市民の関心が高いと思われるので、市の待機児童数の状況などの詳細な情報を資料編に掲載するなどして積極的に開示すれば、市民の満足度をさらに高めることにつながるのではないか。

ご意見を踏まえて、調整させていただく。

実行計画案は、現実行計画よりも取組項目数が増え、一つひとつの内容も細かくなっていることは評価できるが、現実行計画の方が読みやすいと感じる。例えば、目次を全体の大まかな内容が理解できるような表現としたり、掲載する取組項目数を再精査するとよいのではないか。

市民にわかりやすい実行計画となるよう、今後、レイアウトを工夫したい。

案では調整中の部分があるが、今後、本委員会には情報提供されるのか。

現時点の案は、新たに取組項目を追加したり、市総合計画後期実施計画との整合を図るため、庁内調整中となっている項目がある。11月に市議会へ説明する際には、案をEメールで情報提供させていただきたいと考えている。

33「受益者負担の適正化」の目標年度は設定していないのか。

平成28年4月に43施設の使用料等の見直しを行ったが、それとは別に検討することとしている施設の使用料については、今後の見直しの中で設定していきたいと考

えている。

案では、2020年東京オリンピック・パラリンピックに向けた取組があるが、ある意味では一過性のイベントである。相模原市では、市内に活動の拠点を置く代表的なスポーツチームを「相模原市ホームタウンチーム」として認定し、市民全体で応援しており、これらの取組もシティセールスによる継続的なまちづくりの一つになるのではないか。

例えば、(株)ベネッセコーポレーションが、小田急多摩センター駅前に多摩オフィスを設立したのは、元々、講師になりうる人材が駅周辺エリアに豊富だったことが大きな理由の一つであった。

企業誘致は、市内のリニア中央新幹線駅の整備予定エリアを中心に、企業に来てほしいという期待だけでは難しく、今、市内にいる働く意欲を持った人々など、様々な資源が有効活用されることで、新たなビジネスの掘り起こしにつながり、ひいては人や企業に選ばれるまちにつながっていく。つまり、市のシティプロモーションには、オリンピックなど単発的な取組だけではなく、様々な施策を総合的にマネジメントしながらアピールしていくような取組も必要とされているのではないか。

本市でも、シティセールスが観光のアピールだけとは考えていない。市の持つ様々な資源を生かしつつ、認知度や居留意欲を高めるため、どのような情報を発信していくかが課題となっており、効果的・戦略的にアピールしていく具体的な施策を模索しているところである。

本日の意見等を踏まえて、今後、実行計画案をとりまとめていただきたい。

(2) その他

次回委員会の開催は平成29年2月頃とし、別途、日程を調整する。

以上をもって、本日の議題は終了とする。

相模原市経営評価委員会委員出欠席名簿

	氏 名	所 属 等	備 考	出欠席
1	山口 由紀子	相模女子大学人間社会学部教授	委員長	出席
2	田所 昌訓	相模原市自治会連合会会長	副委員長	出席
3	川崎 一泰	東洋大学経済学部教授		出席
4	出雲 明子	東海大学政治経済学部准教授		出席
5	霧生 卓	公認会計士		出席
6	清水 良則	相模原商工会議所青年部		出席
7	櫻井 正友	公募委員		出席
8	澤野 光晴	公募委員		出席
9	高橋 静子	公募委員		出席
10	水戸 隆	公募委員		出席